

【体験授業用教材】

2EJS/2EJ

本科2期9月度（Aターム）1回目

Z会東大進学教室 / Z会京大進学教室 【体験授業用教材（抜粋版）】

中2英語

中2東大英語

[選抜]中2東大・京大英語



目 次

はじめに	2
14 章 現在完了形①	4
15 章 現在完了形②	18
16 章 現在完了形③	28
17 章 分詞の形容詞用法	38
18 章 関係代名詞①	48
19 章 関係代名詞②	58
20 章 関係代名詞③	68
21 章 関係代名詞まとめ	76
22 章 句と節	86
23 章 間接疑問文①	98
24 章 間接疑問文②	106
25 章 動詞の形・as の用法	116
26 章 長文読解	130
付録 基本例文テスト	135

英語（リスニング）の音声は、右のQRコードを読み込むか、
下記URLからリスニング問題専用サイトにアクセスし、お聴き下さい。
<https://www.zkai.co.jp/mypage/e/index.html>
パスワード **wsnh27**



はじめに

1. Z会の教室 英語の指導方針

現在、世界の人口は約70億人。うち英語を話している人は、第2言語として使用している人も含めると、20億人近くいると言われています。日本の約400倍以上の広大な世界で、これほど多くの人が英語を使用しています。「将来どうするの?」と聞かれても現時点で答えるのは難しいでしょう。けれど、英語でコミュニケーションを取れるようになれば、自分の視野を日本だけでなく世界に向けられます。世界は広い。日本と比べ物にならないぐらい広い。そして、比べ物にならないぐらい興味深くて刺激的で面白いことも待っているわけです。その中の何かに、皆さんが将来を賭けるということもあるかもしれませんのです。

さて、「英語でコミュニケーションを取れるようになれば…」と簡単に書いてしまいましたが、「コミュニケーション」という言葉からは、実際に聴いたり話したりすることをまず思い浮かべるかもしれません。確かに、将来的には、そのような実践的な面での能力も身につければなりません。ですが、実践に移る前に必要な基礎学力というものが存在します。基礎学力は文法や語彙の充実によって培われます。文法や語彙の知識が充実しなければ、英語を自由に使いこなせないのはもちろんのこと、大学入試への対応も困難です。そして、これらの基礎学力の養成に最も重要な時期が中学生の期間であると考えます。

Z会の中學講座では、これらの基礎学力を養成するために、文法、語彙、音声を体系化して、効果的に英語力が身につくような授業を行っています。授業で学習した内容を振り返りながら、このテキストを何度も反復できれば、それだけで時代が要請する英語力は身につけられます。結果、皆さんの将来の可能性を広げてくれることにもなると強く信じています。

2. 授業について

予習

基本的に不要ですが、「要点」の部分だけでも目を通しておくと授業の理解がよりスムーズになります。

授業内

「授業に参加する」というのは、皆の前で手を挙げて発言することだけを指すのではありません。

「講義を集中して聞く」、「自分の解答と先生の解答が異なるとき、なぜそうなったのかを考える」、「授業の説明の中から自分に必要な内容を考えてノートに取る」など、自分の頭を十分に使うことが「授業に参加する」ということなのです。先生の板書を写しているから「自分は真面目に授業を受けている」と誤解しないようにしましょう。

「復習のときにわからなくなりそうだ」と思うところは、板書にはなくともすべてノートに書いておきましょう。授業中気づいたこともどんどんノートを取るようにしましょう。そのため、行はなるべく開けて、ノートを取るとよいでしょう。

リスニング

リスニングはまず音に慣れること、そして自分で発音したりスクリプトを音読したりすることも効果的です。繰り返し音読することは、英語の受信力だけでなく発信力をきたえていく上でも非常に重要な作業です。

復習

授業で扱った内容を数日以内に必ず見直しておきましょう。授業に「参加」して自分で能動的に作り上げたノートの内容を確実に理解し、定着させれば、充実した復習ができたと言えます。特に間違ってしまった問題は解き直し、同じミスを繰り返さないように心がけましょう。

添削課題

考える以上に実際に書くことは時間がかかるものです。授業内で解くものは、解答時間を意識して答案を作成しましょう。添削が返却されたら、間違えた箇所はなぜこの解答になったのかという過程を思い出しながら見直しをし、同じ形式の問題が次回出題された時に正解を導けるよう、しっかりと復習してください。

3. テキストの構成

本科2期テキスト全体の構成です

●要点

重要ポイント：授業内で文法事項の説明をします。

確認問題：重要ポイントを確認するための問題です。

●問題

演習：授業内で扱う問題です。

◎CD：ご自身で音声を聞く場合は「目次」をご覧ください。

自習：補充問題です。自宅で復習用として取り組んでください。

●添削課題

添削課題の取り組み方については、スタッフ・講師からの指示もしくは受講マニュアルに従ってください。

●付録

基本例文テストやトラックナンバー表を記載しています。基本例文テストは、文法の重要なポイントを定着させると共に、書く力を強化するためのテストです。事前に例文を何度も音読したり、書いたりして、テストでは毎回全問正解を目指してください。間違えた箇所があれば、そのままにせずに、さらに書く回数を増やして暗記できるようにしましょう。

●問題のレベルについて

Z会の教室のテキストでは、問題のレベルを★の個数によって3段階で表します。

★：基礎

★★：標準

★★★：応用（発展）

なお、☆は選抜講座専用問題です。

※映像授業をご受講の皆様

- ・映像で問題演習の指示が出たら、映像を停止して問題に取り組みましょう。
- ・授業をご受講いただく前に、各講座のオリエンテーション映像をご覧ください。

14章 現在完了形①

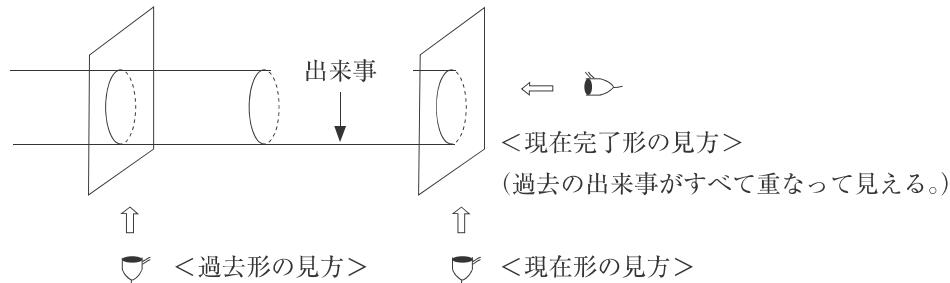
要点

重要ポイント1 現在・過去・現在完了形

現在完了

< have + 過去分詞 > を < 完了形 > と呼ぶことがある。have が現在形 (have, has) であれば、これを < 現在完了形 > と呼ぶ。過去分詞はもともと動詞であるから、その後にさらに目的語が続くこともある。

大切なのは、現在完了形は過去とつながりを持った現在の表現の仕方であるということである。



現在完了形の基本形

S + have [has] + 過去分詞 + 副詞 (句)

Mary has lost her umbrella. (メアリーはカサを失くしてしまった。)

└ lose の過去分詞

——「失くしてしまって今も持っていない」ことを意味することが多い（絶対ではない）。

▶ 縮約形

I have → I've	we have → we've
they have → they've	he has → he's
she has → she's	

<注意！> 現在完了形は時制ではない点に注意！

■確認問題1

次の日本文に合うように、lose を適切な形に変えなさい。

- (1) 私は一昨日カギを失くしたが、昨日見つけた。

I _____ my key the day before yesterday, but I found it yesterday.

- (2) 私はカギを失くしてしまったので、そのドアを開けられない。

I can't open the door because I _____ my key.

- (3) 私はよくカギを失くす。

I often _____ my key.

重要ポイント2 現在完了形の4つの用法

現在完了形

現在完了形は「あることが起こり、その結果が現在に至っている様子」を表現するときに用いる。すなわち、過去の出来事が「継続」「経験」「完了」「結果」といったさまざまな形で現在に影響を及ぼしているときに用いる。

(1) 継続：「ずっと…している」

過去に起こったことが現在の状態として継続している。

He has been in the hospital. (彼はずっと入院している。)

—— 現在も入院している。

(2) 経験：「…したことがある」

過去に起こったことが現在本人の経験として記憶されている。

He has climbed Mt. Fuji. (彼は富士山に登ったことがある。)

—— 現在の彼にとって、登山の経験がある。

(3) 完了：「…したばかりだ、すでに…した」

過去に起こったことは、完了したばかりのことである。また、やり終えた結果、今どのような状況になっているかを表すことができる。

I have eaten lunch. (私は昼食を食べたところだ。)

—— 今お腹はすいていない。

(4) 結果：「…してしまった」

過去に起こったことの結果はそのままで、現在まで新しい変化は起こっていない。

He has lost his bag. (彼はカバンをなくしてしまった。)

—— なくしたままで現在もまだ見つけられていない。

<重要>

現在完了形は、以上の4つの要素を、割合は違ってもすべて持っている（したがって現在完了形の分類にあまり神経質になるのはよくない）。

この4つの要素のうち、どれが最も強くなるかは副詞（句）で決まることが多い。since (～以来), for (～の間) などは「継続」の感じを強め、～times (～回), ever (今までに) などは「経験」の要素を強める。また、just (ちょうど), already (すでに) などは「完了」の感じを強くする。

■確認問題2

次の動詞を適切な形に変えて空所に適語を入れ、現在完了形の文を完成させなさい。

- (1) know : Jane () () Mike for a long time. [継続]
- (2) read : I () () the book before. [経験]
- (3) come : John () just () home. [完了]
- (4) go : Ken and Mary () () to America. [結果]

重要ポイント3 「継続」の用法

(1) 基本形

意味：過去に始まったことが現在も同じように続いていることを表す。

訳：(ずっと) …している

主な副詞語句：for ~ (～の間), since ~ (～以来), How long (どのくらいの間)

She has lived in Hawaii since 1995. (彼女は 1995 年からハワイに住んでいる。)

{ 過去：彼女は 1995 年にハワイに住み始めた。
現在：彼女は現在もハワイに住んでいる。

<cf> She lived in Hawaii in 1995. (彼女は 1995 年にハワイに住んでいた。)

× She has lived in Hawaii in 1995.

↑ 現在完了は過去を表す語句とともにには用いない。

She has been sick since last week. (彼女は先週からずっと病気だ。)

{ 過去：彼女は先週病気になった。
現在：彼女は現在も病気だ。

<cf> She was sick last week. (彼女は先週病気だった。)

—— 現在も病気であるかはわからない。

× She has been sick last week.

↑ 現在完了は過去を表す語句とともにには用いない。

(2) 副詞語句

for：「あることが起こり続けている時間の長さ・幅を表す語」

since：「あることが起こり始めた時点を表す語」

① for 「～の間」

for + 数字 + 時間の単位を表す語 (hour / day / week など) の形になることが多い。

for three days (3 日間), for an hour, for two months, for five years,

for a long time (長い間)

They have lived in this house for ten years. (彼らは 10 年前からこの家に住んでいる。)

She has been in Tokyo for six months. (彼女はこの 6 カ月間東京にいる。)

I have wanted this book for a long time. (私はこの本を長い間欲しいと思っていた。)

② since ~ 「～以来, ～から (現在まで)」

since が前置詞の場合

since 1997 (1997 年以来, 1997 年から), since nine o'clock, since Wednesday, since last month

I have had this dog since last year. (私はこの犬を去年から飼っている。)

He has been busy since this morning. (彼は今朝からずっと忙しい。)

since が接続詞の場合 : since S + V

I have known her since she was a child. (私は彼女を子供の頃から知っている。)

► for は過去形とともに用いることもできるが、動詞によって意味することが異なる。

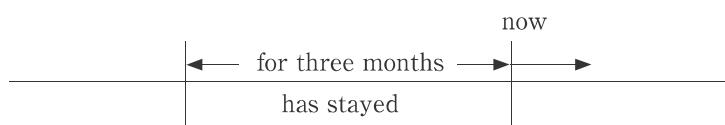
He stayed in Italy for three months.

(彼は 3 カ月間イタリアに滞在していた。) —— 今はもういない。



He has stayed in Italy for three months.

(彼は 3 カ月間イタリアに滞在している。) —— 今もいる。



■ 確認問題3

次の日本文に合うように、空所に適語を入れなさい。

(1) 彼は 1 週間前から東京にいる。

He () () in Tokyo () a week.

(2) 私は彼女のことを 1998 年から知っている。

I () () her () 1998.

(3) 彼は昨日からずっと忙しい。

He () () busy () yesterday.

重要ポイント4 現在完了形の否定文・疑問文

(1) 否定文 : have [has] + not

I have not [haven't] seen her for a long time. (私は彼女に長い間会っていない。)

It has not [hasn't] rained since last Saturday.

(この前の土曜日からずっと雨が降っていない。)

(2) 疑問文 : have [has] を文頭に移動させる。答えは have [has] / haven't [hasn't] を用いる。

"Have you been sick since yesterday?" "Yes, I have."

(「あなたは昨日からずっと具合が悪いのですか。」「はい、そうです。」)

"How long has she studied at college?" "She has studied there for three years."

(「彼女はどのくらいの間大学で勉強していますか。」

「彼女はそこで3年間勉強しています。」)

■確認問題4

次の日本文に合うように、空所に適語を入れなさい。

(1) 私は昨日から何も食べていない。

I () () anything since yesterday.

(2) 私の妹はずっとカナダに行きたがっている。

My sister () long () to go to Canada.

(3) あなたはどれくらいの間そのネコを飼っているのですか。

() () () you () the cat?

(4) 私はそのネコを3年間飼っています。

I () () the cat for three years.

(5) 彼女はこの前の月曜からずっと学校を欠席しているのですか。

() she () absent from school since last Monday?

重要ポイント5 「経験」の用法

意味：今までにあることを体験したことがあるかないかを表す。

訳：(今までに) …したことがある

主な副詞語句：before (以前に), often (しばしば), once (1回),

twice (2回), ~ times (~回), ever (今までに),

never … (一度も…ない), How often [How many times] (何回)

I have visited Los Angeles once. (私は1度ロサンゼルスを訪れたことがある。)

——「ロサンゼルスを訪れた経験があり、そのことが現在に何らかの影響を与えている」という意味合い。

<cf> I visited Los Angeles three years ago. (私は3年前にロサンゼルスを訪れた。)

——「ロサンゼルスを訪れた時期」が伝えることの中心

✗ I have visited Los Angeles three years ago.

↑ 現在完了は過去を表す語句とともにには用いない。

I have never seen a rainbow. (私は虹を見たことがない。)

“Have you ever taught French?” “No, I haven’t.”

(「あなたは今までにフランス語を教えたことがありますか。」「いいえ、ありません。」)

“How many times has she talked with those Americans?” “She has talked with them five times.” (「彼女は何回あのアメリカ人たちと話したことがありますか。」「彼女は5回彼らと話したことがあります。」)

※「行ったことがある」という経験を表すときは gone to ではなく been to を用いる。

■確認問題5

次の日本文に合うように、空所に適語を入れなさい。

(1) 彼女は一度ヨーロッパを訪ねたことがある。

She () () Europe once.

(2) 私はそのCDを2回聴いたことがある。

I () () () the CD twice.

(3) 私の両親は富士山に3回登ったことがある。

My parents () () Mt. Fuji three times.

(4) 今までにドリアンを食べたことがありますか。

() you () () a *durian?

*durian : 「ドリアン (果実)」

(5) 彼女は私の兄に会ったことがない。

She () () () my brother.

(6) あなたは何回アメリカを訪ねたことがありますか。

() () () () you visited the U.S.?

(7) 私は2回北海道に行ったことがある。

I () () to Hokkaido twice.

発音・リスニング

④ CD 1

[b] と [v]

もう一度、2つの音の特徴を確認しましょう。

[b] : 脣を結んだ状態から「ブッ」と息を破裂させて発音する。日本語の「ブ」のように口をすぼめて発する [bu] という音にならないように注意しよう。

[v] : [f] の発音をする時と同様、上の歯で下唇の内側の部分を軽くおさえながら、息を「ブ」と吐き出して発音する。この際、上の歯が下唇に触れないと [b] の音になってしまふので注意しよう。

Come back before seven. (7時前に戻りなさい。)

I have been to Vancouver once. (私はバンクーバーへ一度行ったことがあります。)

Victor has already gone to bed. (ビクターはもう床についている。)

My elder brother is a vegetarian. (私の兄はベジタリアンです。)

Bob dived into the pool. (ボブはプールに飛び込みました。)

■聞き取りクイズ

④ CD 2

どちらの単語が読まれましたか。

- ① ban / van ② base / vase ③ bat / vat ④ lib / live ⑤ boat / vote

問題

■演習

★

【1】次の日本文に合うように、空所に適語を入れなさい。

(1) あなたはいつから彼女を知っているのですか。

() () have you known her?

(2) あなたのご家族は何回外国へ行ったことがありますか。

() () () has your family been abroad?

(3) ぼくは1回もUFOを見たことがない。

I have () seen a *UFO. *[jú:efóu]

(4) 私の父は長い間タバコを吸っていない。

My father () smoked () a long time.

(5) 今までに田中さんに会ったことがありますか。

Have you () met Ms. Tanaka?

(6) 私はその映画を2回見た。

I have seen the movie ().

(7) 私の母は2カ月前からカナダにいる。

My mother has stayed in Canada () two months.

(8) 私は4回その町を訪れたことがある。

I have visited the town () ().

(9) 山田さんは先週から病気で寝ている。

Mr. Yamada has been ill in bed () last week.

(10) あなたは何回その本を読みましたか。

() () have you read the book?

★★

【2】次の各文のカッコ内の動詞を適切な形に変えなさい。日本語訳があるものはそれに合うように直しなさい（2語以上になる場合もある）。

(1) I (know) him since he was a child.

(2) John (be) very busy since last month.

(3) I (see) her last month.

(4) I (not see) her for a month. 私は1カ月間彼女に会っていない。

(5) He (be) dead for three years.

(6) He (come) back from New York three days ago.

(7) I (hear) the song three times. 私はその歌を3回聞いたことがある。

(8) I (want) the computer for a long time.

私は長い間そのコンピュータを欲しいと思っている。

(9) Keiko (write) two letters last night.

- (10) How many times (you climb) Mt. Fuji?
あなたは何回富士山に登ったことがありますか。

★★

【3】次の英文を指示に従って書き換えなさい。

She has studied English at college for three years.

- a) b) c) d)

- (1) 下線部 a) をたずねる疑問文を作りなさい。
(2) 下線部 b) をたずねる疑問文を作りなさい。
(3) 下線部 c) をたずねる疑問文を作りなさい。
(4) 下線部 d) をたずねる疑問文を作りなさい。

★★

【4】次の英文をカッコ内の指示に従って書き換えなさい。

- (1) I have had this car for two years. 〔下線部が答えの中心となる疑問文に〕
(2) I have been to Paris. 〔「一度も行ったことがない」という文に〕
(3) I have swum in the lake five times. 〔下線部が答えの中心となる疑問文に〕
(4) I have heard about George Washington.

〔「今までにジョージ・ワシントンについて聞いたことがありますか」という疑問文と「1度もジョージ・ワシントンについて聞いたことがない」という否定文に〕

★★

【5】次の日本文に合うように、カッコ内の語句を正しい語順に並べ換えなさい。

- (1) 私は彼がまだ小さな子供だった頃から、彼のことを知っている。
(child / have / since / I / little / was / known / he / a / him / .)
(2) あなたは今までにその川を泳いで渡ったことがありますか。
(the / ever / across / you / swum / have / river / ?)
(3) あなたは何回そのレストランで夕食をとったことがありますか。
(at / times / had / have / how / the / many / you / restaurant / dinner / ?)
(4) 私はこの本を今まで一度も読んだことがない。
(never / I / book / have / read / this / .)

★★★

【6】次の日本文を英語に直しなさい。

- (1) サムは2年前から東京に住んでいる。
(2) 私は一度も富士山に登ったことがない。

☆

【7】 次の日本文を英語に直しなさい。

- (1) 私はその歌手を見たことがある。
- (2) 姉は英語でスピーチをした経験が多くある。
- (3) 「あなたは南米に行ったことがありますか。」「いいえ、一度もありません。」

添削課題

【1】 次の日本文に合うように、空所に適語を入れなさい。

(1) 私たちは昨年から東京に住んでいる。

We () () in Tokyo since last year.

(2) 彼はずっと新しい自転車を欲しがっている。

He () () a new bike for a long time.

(3) 彼は1週間ずっと忙しいのですか。——いいえ、そうではありません。

() he () busy for a week? —No, he ().

(4) 3ヵ月間、雨が降っていない。

It () () for three months.

(5) 父はその映画を3回見たことがある。

My father () () the movie () ().

(6) エミは朝食を一度も作ったことがない。

Emi () () () breakfast.

(7) 沖縄へ行ったことがありますか。

() you () () to Okinawa?

(8) 私は2回そのテレビ番組を見たことがある。

I () () the TV program ().

【2】 次の英文は日本語に、また日本文は英語に直しなさい。

(1) I have written to Jim twice.

(2) My brother has climbed Mt. Fuji once.

(3) Have you known Jane since 2000?

(4) She has been sick in bed since last night.

(5) 私たちは昨年からずっとケンタに会っていません。

(6) プーさん (Pooh) はどれくらい病気で寝ているのですか。

(7) 「そこへ何回くらい行ったことがありますか。」「3回です。」

(8) 「その本を何回読んだことがありますか。」「一度もありません。」

体験授業をご受講いただく皆さんへ

体験授業をお申し込みいただきありがとうございます。

Z会の教室の授業は、学力を効果的に上げていくためのカリキュラム・内容となっております。

次回以降もぜひ継続して受講することをおすすめします。

《体験授業後の流れ》

お申し込み方法

引き続き継続して受講される場合は、各教室窓口・お電話でお申し込みが可能です。
※体験授業終了直後に窓口で申し込んでお帰りになることもできます。
※認定が必要な講座をご希望の方はテストを受験していただく場合があります。
※予習が必要な講座は次回までの予習がありますので、余裕を持ってお申し込みください。
※本科授業は、「**クラス授業**」「**映像授業**」が選べます。
※映像授業の体験も承ります。一部の講座では映像授業のご用意がありません。
予めご了承ください。

通話料 無料 0120-2828-76 月曜日～土曜日 12:00～20:00
(休室日を除く)

各教室電話番号	御茶ノ水教室	03-5296-2828	池袋教室	03-5985-2828
月曜日～土曜日 14:00～21:00 (休室日を除く)	渋谷教室	03-5774-2828	横浜教室	045-313-2828
	新宿教室	03-5304-2828	葛西教室	03-5878-0844

お申し込み後の流れ

お申し込みから1週間以内に手続書類(入会書類、お支払いについて、会員証など)をお送りします。

※受講料のお支払い期日が次回授業よりも後の場合でも、次回授業へのご参加は可能です。

※体験授業後にご受講いただく場合、「Z会の教室」では「月度」単位で受講料を請求させていただいているため、体験授業分も受講料をご請求する場合があります。くわしくは教室スタッフまでお問い合わせください。

お申し込み後、テキストを各教室窓口にお受け取りください。

※葛西教室にて高1・高2講座・受験講座、Z会進学教室大学受験部立川教室にて高1・高2・受験生講座を開講しております。

講座選択に迷ったら…

学習相談は隨時承っています。お電話でのご相談も可能です。

受講に際して不明点、不安な点がある方は、各教室の窓口、または上記番号までお気軽にお問い合わせください。

Z会の教室の受講サポート 一萬全のシステムで効果的な学習をサポートします！

1. 講師への質問

授業前後の時間や休み時間を利用して、担当講師に直接質問をすることができます。
疑問点をそのままにすることなく、その場で解消することができます。

2. 振替受講

本科のクラス授業で欠席する回の授業を、同一週・同一講座の他のクラスで振替受講することができます。
他教室への振替、映像授業（教室・自宅での受講）への振替も可能です。前日までに各教室窓口、お電話にてお申し出下さい。

※振替手続は一週前の月曜から可能です。

3. 進路・学習・入試相談

各教室の学習アドバイザーが皆さんのご相談を随时承っています。

4. 自習室

本科生の方は休室日を除いて、全教室の自習室をいつでもご利用いただけます。